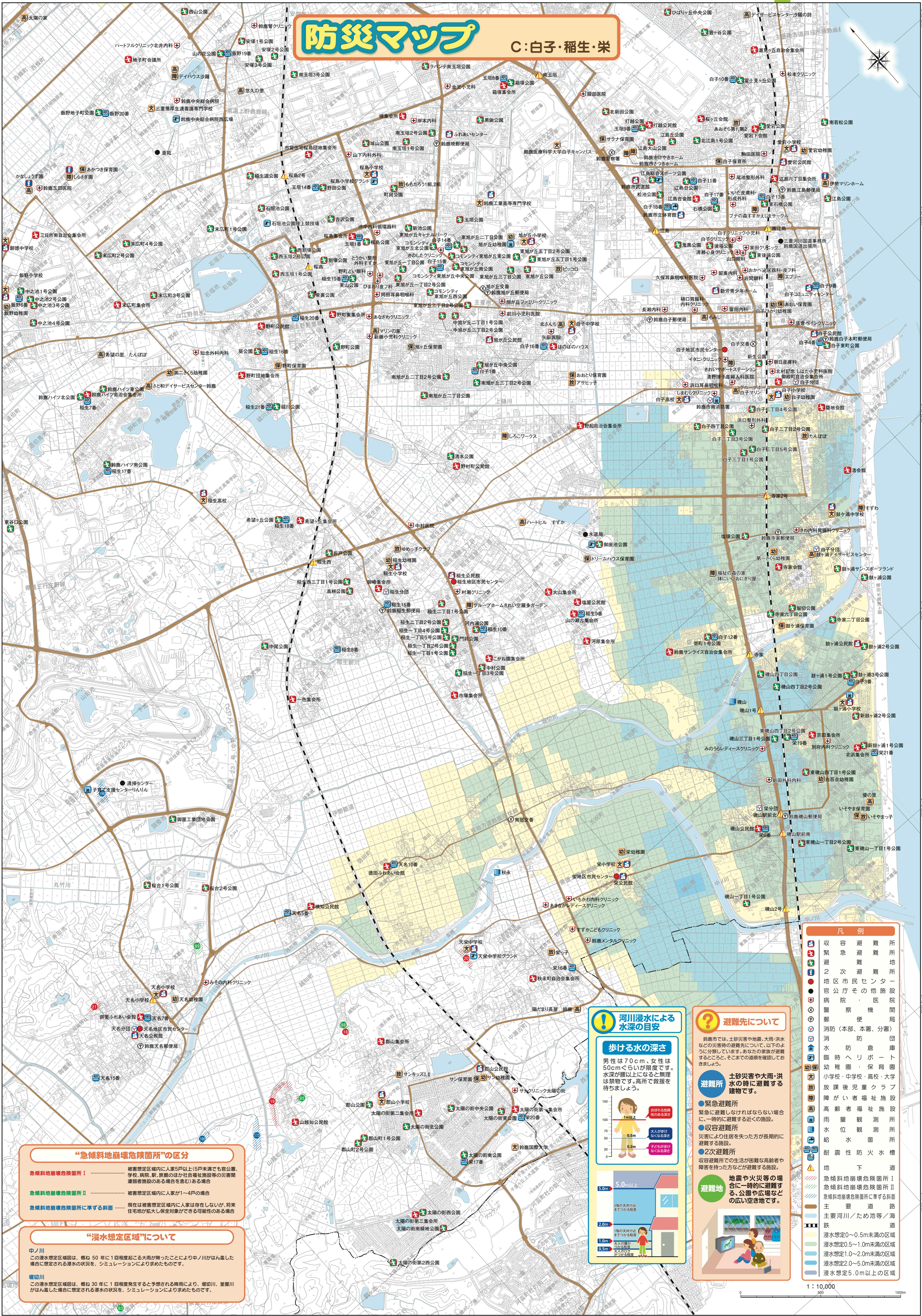


防災マップ

C:白子・稲生・栄



凡例	
	収容避難所
	緊急避難所
	避難地
	2次避難所
	地区市民センター
	官公庁その他施設
	病院・医院
	警察機関
	郵便局
	消防(本部、本署、分署)
	消防団
	水防倉庫
	臨時レクリエーション
	幼稚園・保育園
	小学校・中学校・高校・大学
	放課後児童クラブ
	障がい福祉施設
	高齢者福祉施設
	雨量観測所
	水位観測所
	給水観測所
	耐震性防火水槽
	地下道
	急傾斜地崩壊危険箇所Ⅰ
	急傾斜地崩壊危険箇所Ⅱ
	急傾斜地崩壊危険箇所に関する斜面
	主要道路
	主要河川/ため池等/海
	鉄道
	浸水想定0~0.5m未満の区域
	浸水想定0.5~1.0m未満の区域
	浸水想定1.0~2.0m未満の区域
	浸水想定2.0~5.0m未満の区域
	浸水想定5.0m以上の区域

河川浸水による水深の目安

歩ける水の深さ

男性は70cm・女性は50cm以下が限度です。水深が腰以上になると無理は禁物です。高所で救援を待ちましょう。

5.0m以上

5.0m以上の浸水想定区域は、1階の天井付近まで浸水する恐れがあります。

2.0m

1階の天井付近まで浸水する恐れがあります。

1.0m

大人の膝の高さまで浸水する恐れがあります。

0.5m

大人の膝の高さまで浸水する恐れがあります。

避難先について

緊急避難所

緊急に避難しなければならない場合に、一時的に避難する近くの施設。

収容避難所

災害により住居を失った方が長期的に避難する施設。

2次避難所

収容避難所での生活が困難な高齢者や障害を持った方などが避難する施設。

避難地

地震や火災等の場合に一時的に避難する、公園や広場などの広い空き地です。

“急傾斜地崩壊危険箇所”の区分

急傾斜地崩壊危険箇所Ⅰ

被害想定区域内に人家5戸以上(5戸未満でも官公庁、学校、病院、駅、旅館のほか社会福祉施設等の災害関連避難者施設のある場合を含む)がある場合

急傾斜地崩壊危険箇所Ⅱ

被害想定区域内に人家1~4戸の場合

急傾斜地崩壊危険箇所に関する斜面

現在は被害想定区域内に人家は存在しないが、将来住宅地が拡大し保全対象ができる可能性のある場合

“浸水想定区域”について

中ノ川

この浸水想定区域は、概ね50年に1回程度起こる大雨が降ったことにより中ノ川がはんちゅうした場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

堀切川

この浸水想定区域は、概ね30年に1回程度発生すると予想される降雨により、堀切川、釜屋川がはんちゅうした場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

この地図は三重県自治体連合会管理の地図を基に、同組合所管の2006年度重要共有デジタル地図(数値地形10,000)を使用し、調整したものである。(認番号:三自治体152)本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とする。